

平成 30 年度第 1 回青森市健康福祉審議会 会議概要

- 1 開催日時 平成 30 年 11 月 5 日（月曜日） 午後 6 時 30 分～7 時 30 分
- 2 開催場所 青森市福祉増進センター（しあわせプラザ）3 階 大会議室
- 3 出席委員 浅利義弘委員、天内勇委員、加川幸男委員、木村隆次委員、工藤昭委員、
工藤功篤委員、児玉寛子委員、小松崎明委員、今栄利子委員、坂本浩司委員、
佐藤秀樹委員、清水和秀委員、杉本正委員、高谷和彦委員、鳥山夏子委員、
成田祥耕委員、成田憲雄委員、長谷川さとみ委員、畑中和紀委員、船木昭夫委員、
三浦裕委員、松浦淳委員、村上秀一委員、村松薫委員、安井眞木子委員、
《計 25 名》
- 4 欠席委員 北澤祐一委員、齋藤裕行委員、町田徳子委員、山崎祐佳委員
《計 4 名》
- 5 事務局 福祉部長 舘山新、保健部長 浦田浩美
福祉部次長 荒内隆浩、
福祉部参事（福祉政策課長事務取扱） 福井直文、
福祉部参事（子育て支援課長事務取扱） 高野光広、
保健部青森市保健所副所長 山口朋子
保健部参事（青森市保健所保健予防課長事務取扱） 加福拓志
指導監査課長 大久保綾子、障がい者支援課長 金澤敦、介護保険課長 花田清志、
高齢者支援課長 土岐志保、生活福祉一課長 野戸谷孝、
青森市保健所生活衛生課長 村本道則、
青森市保健所健康づくり推進課長 鈴木久美子
浪岡事務所健康福祉課長 小形麻理、
福祉政策課副参事 白坂孝志、同主査 小山内孝育、同主査 杉田大樹、
同主事 山上亜希子、同主事 寺島智史 《計 20 名》
- 6 会議次第
 - 1 開会
 - 2 委嘱状交付式
 - (1) 委嘱状交付
 - (2) 市長あいさつ
 - 3 組織会
 - (1) 委員長選出
 - (2) 委員長職務代理者の指名

(3) 各専門分科会等に所属する委員の指名

4 その他

各専門分科会・部会の概要について（報告）

5 閉会

7 議事概要

1 開会

2 委嘱状交付式

(1) 委嘱状の交付

出席委員 25 名に、市長から委嘱状が交付された。

(2) 市長あいさつ

委嘱状の交付後、市長からあいさつがあった。

3 組織会

(1) 委員長選出

成田委員を推薦する者があり、全委員異議なく全会一致で、成田委員が委員長に選出された。

(成田委員了承)

委員長 成田 祥耕 (一般社団法人青森市医師会 会長)

(2) 委員長職務代理者の指名

成田委員長から、佐藤委員が委員長職務代理者に指名された。(佐藤委員了承)

委員長職務代理者 佐藤 秀樹 (青森市保育連合会 会長)

(3) 各専門分科会等に所属する委員の指名

委員長から、事務局案提示の求めがあり、事務局案（資料6）が各委員に配付され、事務局（福祉政策課長）から青森市健康福祉審議会の各専門分科会等の所属委員案について説明があった。

事務局案（資料6）に対し、委員長の異議はなく、各専門分科会等の所属委員について、事務局案（資料6）のとおり、委員長が指名した。

○民生委員審査専門分科会

加川幸男委員、工藤昭委員、齋藤裕行委員、杉本正委員、船木昭夫委員、三浦裕委員

《計 6 名》

○障がい者福祉専門分科会

浅利義弘委員、工藤功篤委員、小松崎明委員、今栄利子委員、鳥山夏子委員、
長谷川さとみ委員、船木昭夫委員、町田徳子委員 《計 8 名》

○障がい者福祉専門分科会審査部会

岩谷道生臨時委員、工藤育男臨時委員、工藤協志臨時委員、久保園善堂臨時委員、
三戸千賀子臨時委員、菅原茂臨時委員、坪健司臨時委員、富永健臨時委員、
半田哲人臨時委員、福士道夫臨時委員、福士実臨時委員、南收臨時委員、
小林敏彦臨時委員、近井宏樹臨時委員 《計 14 名》

○児童福祉専門分科会

齋藤裕行委員、坂本浩司委員、佐藤秀樹委員、清水和秀委員、町田徳子委員、
松浦淳委員 《計 6 名》

※すでに指名済の北澤祐一委員を含め、児童福祉専門分科会の全委員数は 7 名

○高齢者福祉専門分科会

天内勇委員、木村隆次委員、児玉寛子委員、今栄利子委員、三浦裕委員、村上秀一委員、
安井眞木子委員 《計 7 名》

○地域保健専門分科会

高谷和彦委員、成田祥耕委員、成田憲雄委員、畑中和紀委員、村松薫委員、
山崎祐佳委員 《計 6 名》

○地域福祉専門分科会

浅利義弘委員、天内勇委員、加川幸男委員、工藤昭委員、工藤功篤委員、児玉寛子委員、
坂本浩司委員、佐藤秀樹委員、杉本正委員、鳥山夏子委員、三浦裕委員、村上秀一委員、
安井眞木子委員 《計 13 名》

※すでに指名済の北澤祐一委員を含め、地域福祉専門分科会の全委員数は 14 名

4 その他

各専門分科会・部会の概要について（報告）〔資料 2 参照〕

事務局（福祉政策課長、障がい者支援課長、介護保険課長、保健予防課長）から説明があつた。

意見・質疑応答

○委員

市は地区カルテを作成し、地域の住民や専門機関等を含め、連携を図ると言いながら、実際は地区カルテが実動していない。地域福祉専門分科会の次回開催が 2 月というのは今年度

の取りまとめだけのように思えるので、もう少し本腰を入れて進めてほしい。

また、児童福祉専門分科会も今年度残り 2 回の開催予定案件が許認可に関する事項のみということなので、青森市の児童の幸せに繋がる計画や具体的なプランについて、もう少し議論しても良いのではないか。

○事務局

今年度はスケジュール通り進めさせていただき、次年度は、必要に応じ事務事業の検証等を行ってまいりたい。

また、市では新たな総合計画を策定している最中であり、その進捗も踏まえながら、各種計画等の進捗や見直し等について、会議に諮ってまいりたい。

○委員

地域包括ケアシステムは、高齢者だけのものでなく、子育て世帯や障がいのある方々も含め、お互い支え合うというものなので、それぞれ横のつながりを持って進めなければ前に進まない。人口がどんどん急減しているので、地域で支え合う仕組みづくりを加速させて取り組んでほしい。

○事務局

市でも、高齢者のみならず、子ども、障がい者等すべてを含めた形で地域包括ケアシステムの構築にかかる事務事業等を進めなければいけないと認識している。

委員の皆様からご意見等をいただきながら、覚悟を持って進めてまいりたい。

5 閉会